

一、大坂ヨリ東京及ヒ長崎等ハ

郵便度數ヲ増ス

ハ

太政類典第二編第百八十七卷白明治四年八月至同十年十二月

第三類

運漕三

陸運 郵便二

六年十二月十七日

第百拾壹號

來明治七年郵便規則及ハ罰則共別冊ノ通ニ候條此旨
布告候事

日本
帝國
郵便規則

驛遞寮

凡郵便役所及郵便取扱所主任タル者
必ス此郵便規則ヲ熟讀諳記スヘシ那一
則ニ違戾スルモ未タ知ラズト云フヲ以テ實
容ヒサル所ナリ
若シ此書ヲ失ヒ或ハ摩損シテ自他閱覽ノ用
ニ缺クニ至ラハ主任者已レノ費ヲ以テ再ヒ
之ヲ購ヒ求メ必ス其局ニ備フヘシ

本年改定之郵便規則及郵便犯罪罰則共舊不充
分之廉々別冊朱蹄之通改正増刪致且自是以往
年々實際事務之開進ニ隨ヒ必然多少之改正可
有之儀ニ付毎歲之ニ改版致一其年蹄と以テ序
次區分可相立積リ依テ今般改正出版之今ハ明
治七年日本帝國郵便規則及罰則と名號致一度
此段相同中候也

明治六年十一月九日

大藏卿大隈重信

右大臣岩倉具視殿

思 近 寄

伺之通

右大臣
岩倉具
視印

明治六年十二月五日

昨辛未三月郵便御開以來漸々線路と相擴々内
國之信書者粗一般に相通候場合に至候得共従
前之規則ニ而者里數之遠近に隨而賃錢差別有
之候より未々全衆庶之便と盡さず殊々其事に
當る者共全國之地銘と其總里數と暗記せざる
に適當之賃錢受取難く是ら多免に紛雜煩難を
生じ致す儀に付近時西洋諸州に於て一定の
法に倣ひ其信書之重量と區分を定むる而已里
程に就而者遠近を論じ人同量のものを國內相通

一、等一之遞送料と請取候規則と相定め別冊
 之通郵便規則改正致度然共遠近等一之遞送料
 と受取候時者遠と以例して近きと多きを收る
 理合と相成候に付近きと達する信書者皆飛脚
 屋等之手と落ち政府之郵便者唯遠方と達する
 信書之往復に當る而已小くは當り得失相償さ
 る而已あり力かきて盛大之業と達し能こと
 致義にも相成候間是又西洋各國の法の如く賃
 錢の稱呼と發して郵便税として信書遞送の事を

常て郵便税と收るの務ハ驛遞頭の一と取ど
 り他者皆之致嚴禁致し又別紙の通郵便犯罰罰
 則相定郵便規則者來明治六年四月一日より郵
 便犯罪罰則者同年五月一日より施行相成候様
 致度依之御布告案其外にも相添此段相同申候
 壬申十一月十五日 大藏大輔井上馨

正院
 御中

伺之通
 正院之印

明治六年二月八日



凡そ國の稱ある所以のその人民其言語風尚
と一ふ政令緒ありて權利相恃り以相交の誼
と通して其憂樂と同ふ十里の遠きは離隔を
るも一區の近は往來する如く其は憲典に遵由
て能く一社の友情と遂るといふ此今大に交情
を相通し均しく政令を相奉り一社の友を為す
者ハ僻境邊陲に至る迄郵便の道自在ふりて互
に信書を往復し歡と報し苦と告り有るを以て
無き易へ婚媾貿易生産開墾東に起ると西に

報ト南止と北は諫の四方の物情響應を以てなり恃其國內の社友のあり海外萬里の國と雖互は交際之道を開き彼我の民來往亦朋友の好となせし故に隨て往復の信書あり必む郵便無うるべし故に歐米兩洲の國は於てハ重く驛遞の官と置き或ハ公入の時を費し一郵便は從事せし已に昨年来國の政府殆んと五萬元の大金を郵便一事に費せりと此理も深く沈思せざるべし夫れ歐米國民

の如きハ素より政府の力と借らばして陸は鐵道の車と轉し海は火輪の船と浮べ物貨運輸の旅の往來萬里遠隔の土地と雖も絶て障礙ある事無く之と能く掌るの知識ありと雖ども現に利ありと見えしにあらざれば業を開く所力無く決して荒陬僻野迄二三の信書を達する能ふべからず之と達せんとせば大に價を増さるべし何ぞ均一の低價を以て遍く遠近に達せりと得ん況や海外郵便の如きハ甲は送る一封

の書も乙丙丁の數國を歷て之と達するものな
きハ固より會社或ハ一商の能く得て辦るを
業としは是を獨り政府の當て任るを所う
て乃ち其施設の所以なり古來吾國信書の事
ハ一ハ商民の私業ハ故一政府是と與う
より往復最も滋滯して喻ハ陸羽は住る人
肥薩の人ハ書を送るハ唯幸便と待つのみ
多くハ年を経月と重ね或ハ達するハ道と知ら
に況して北海道の遠きと於てハ恰も絶海無航

と同一く聲音幾人とも阻隔して民俗と風興境之
者やなさんともありのみなり既ハ外交に
より彼の民我地は往來者萬を以て數ふに
又我民の彼に遊ふ千餘の數に及ぶ一互ハ文書の往
來にせども我より之と達する道あり彼の國政府の驛通
院より官吏と横濱等に出して此往復と司らるる
堂々たる我帝國より斯る大典と云きたるハ實
ハ此民の不幸と謂べ一故またの郵便規則の通り
海内一般郵便の方法と開き僻邑邊村に至る迄

信書不達の地無ううの併せて新聞書籍見本品
 迄廣く之と運送せしめ交誼と厚く文化と擴め貿易
 生産繁殖の本凡と民人は益する郵便の事ハ驛遞寮
 司らるる國の國々由縁と實に終は海外通信の
 國何きの土地も吾郵便切手と以て音書自由の約と
 成し此欠典の憾無かりの人の御趣意されハ衆
 庶共くこの理と解して其隆渥の國恩を報る事
 と勉むる也

明治五年申年三月

大藏省

目録

内國郵便	初丁
郵便にかき印紙	四丁
地方管内官民往復郵便	五丁
無税郵便	六丁
日誌新聞誌物價公報及公文書	九丁
書籍類見本品	十二丁
別段書留郵便	十五丁
郵便役所留置書状	十七丁

金子入書狀	十八丁
郵便切手	二十二丁
郵便封囊	二十三丁
海外郵便仮手續	二十二丁
没書	二十六丁
雜則	二十八丁
郵便ヲ差出入ノ心得	三十四丁
東京府内并横濱往復郵便差立配達時刻表	三十七丁

一 横濱市中并東京往復郵便差立配達時刻表 三十八丁

一 大阪府内并西京堺神戸兵庫伏水往復郵便差立配達時刻表 四十丁

一 堺ヨリ大阪西京神戸兵庫伏水郵便差立時刻表 同丁

一 伏水ヨリ西京大津大阪神戸兵庫郵便差立時刻表 同丁

一 大津ヨリ西京伏水大阪神戸兵庫 同丁

一 郵便罰則

53

一 市内往復ノ書狀
喻ハ東京ノ往ノリ東京ノ住ニ長崎ノ
 長崎ノ往スル人ニ差出人類ニテ其市中ニ出テ同

市ニ達スル
ハ前ノ割合半減ノ郵便税ヲ可拂事

即チ
目方
二匁以下
一錢

同
二匁以上
二錢

同
四匁以上
三錢

以上皆此ノ割合ヲ以テ目方二匁迄毎二一

錢ツ、ヲ相増シ可拂事

郵便役所及ヒ郵便取扱所無之在村、差出ス
書状、右割合ノ外目方ニ不拘一封ニ付一錢

増税ヲ可拂事

一 東西京大阪横濱神戸等日々數回ノ配達有之

土地ト雖モ其時刻ニテラガレバ、レヲ配達

ヒズ又配達ノ時刻ニ及ノモ路筋ノ順叙有之

夫是ニテ其地ニ到着シテ後猶多少ノ時間ヲ

費シ其他ノ土地ハ猶且時間ノ費マレハ若シ

至急ノ書状ニテ到着スルヤ否時モ猶豫

ハル様配達セシヲ望ム者ハ右割合税ノ外ニ

左ノ増税ヲ目方ニ拘ハラズ一封毎ニ相拂

且其書状ノ表書へ別配達ト朱ニテ記シ置可

申事

東京ハ朱引ノ内外ニ拘ハラズ

八錢

西京大坂ハ洛府ノ内外ニ拘ハラズ

六錢

第一等郵便役所有之地ハ

三錢

第二等以下ノ郵便役所及ヒ一般

二錢

ノ郵便取扱所有之地ハ

郵便役所ハ勿論郵便取扱所モ無之在村へ前

条ノ如ク至急ノ書状ヲ差出ス時ハ別ニ増税

ヲ拂ハズ何地ノ郵便取扱所有之地ヨリ別位立ト

第二

第六

朱ニテ書状ノ表ニ記入ベシ然ル時ハ其地郵便役所ヨリ別脚夫ヲ差立テ其届先ヨリ相當ノ賃錢受取可申事

但届リ方延引スルカ或ハ不相當ノ賃錢ヲ受取ルヲアラバ其段驛邊察へ無税書状ヲ以テ可申越屹度此明可致事

郵便税ヲ拂フハ必ス郵便切手ヲ以テシ決シテ正金錢ヲ用フベカラザル事

第七

若シ書状ヲ出ス方ニテ郵便税ヲ前拂致サズ

届ケ先ニテ、レヲ拂フハ其受取人ヨリ定
 税ノ一倍ヲ可拂事
 前拂ノ税ニ不足アルハ其不足税ノ一倍ヲ
 届先ヨリ可拂故ニ喻ヘバ二匁以上四匁以下
 ノ書状ハ唯二匁迄ノ税二錢ヲ拂ヒ二匁以上
 ノ分ヲ拂ヒ置カザルハ其二匁以上ノ分ヲ
 不足税トシ其一倍即チ四錢ヲ届ケ先ニテ書
 状ノ受取人ヨリ可拂且郵便取扱所無之在村
 、其出スル増税ヲ拂ヒ置カザルハ其増税

ノ一倍ヲ二錢ヲ受取人ヨリ可拂事
 先拂税并不足税正届先ニテ受取ルハ朱ニ
 テ消シタル郵便切手ヲ張付ケ置クニ依リ
 レヲ目當トシテ可拂事
 但第五条ノ脚夫賃錢ハ此限ニアラザル事
 再達ノ書状ハ先拂ニテモ一倍ノ増税ヲ拂ノ
 ニ不及事

本文再達ノ書状トハ一度配達シタル書状
 ヲ再度配達スルト云ノ意ニテ喻ヘハ或人

甲ノ家ニ住スルト思ヒテ書状ヲ送り郵便
取扱所ヨリ其書状ヲ甲ノ家ニ配達セシニ
其人甲ノ家ニ在ラザル故甲ノ家主其書状
へ其人ノ移リ在ル乙ノ家ノ地名等ヲ記シ
再ヒ郵便ニ差出シタルヲ配達スルハ云

○郵便ものがき印紙

他見ヲ憚カラズ又上包ヲ要セザル短文通ヲ
低税ニテ往復ノ便宜ヲ開クニ為メ之ヲ各

地郵便役所ニテ行賣ト事

一市内ノ往復ニ用ハルハ半銭ノものがき紙國
内ニ通ジテ用ハルハ一銭ノものがき紙ヲ可
用ト事

郵便役所及ニ取扱所無之在村ハ差出スルハ
之ニ壹錢ノ増郵便切手ヲ張付可申然ラザ
ハ信書等ノ如ク届ク先ヨリ一倍ノ増税可為
拂事

此レがき紙ハ三兩五港郵便役所ニ於テ百枚

以上ヲ一度ニ買フ者ハ五分減二百枚以上ハ
壹割減ニテ買ヒ得ベキ事

此モカキ紙ノ而ニ郵便切手等ノ模様有之部
ハ先方ノ宿所姓名ヲ限リ認ムベシ且郵便切
手ノ模様ハ少シモ墨ノ附カサル様ニ心ヲ用
フベシ若シ聊ニラモ墨ノ跡ナド有之ハハ繼
立不致廢紙一可致事

(一)地方管内官民往復郵便

各地方官廳ヨリ其管内人氏 指令書并其人

民ヨリ官廳ニ差出ス願伺書等其管轄中ノ限
リ官民往復ノ書類開キ封成ハ帶封ニテ差出
ス分ハ信書定税半減ノ事

刊行シタル布告布令布達等ヲ其管内ニ頒布
スルハ公文書定税半減ノ事

石書中ニ他ノ封物差入有之ハ之ヲ取出シ
信書定税ノ一倍届先ヨリ可為拂事
税一拂ヒ不足有之ハハ規則ノ通届先ヨリ其
倍ヲ可為拂事

先拂及ヒ不足税ノ届先ニテ拂ハザルハ之
 其差出人ト相戻シ二倍ノ税ヲ可為拂事
 願同書等ハ必ス各廳長官ノ名ヲ宛テ且差出
 人ノ名前宿所ヲヒ詳細認メ可差出事

○無税郵便

凡ソ國ノ大市民ノ太利害ニ付キ其管轄廳
 官院諸官等へ宛テ差出ス建白訴訟歎
 願書ノ類ハ包無之歟ハ包アレハ開テ封
 差出スニ於テハ目方十六匁迄無税
 遞送

フ計スベシ然レハ十ニ分一ヲ掬ハルハ第四拾
 八条書籍税ノ割合ヲ以テ可相拂事

右ノ内些少ナリ此封物アルニ於テハ書状先
 拂税ノ例ヲ以テ其請取人ヨリ全書額ノ目ウ
 ノ籠メ其税ヲ拂ハシムベク又税ニ不足ノ
 ルハ其不足ヲモ同斷拂ハシムベキ事

但一己ノ私願ハ勿論一村一市ノ利害ニ就
 タル建白諸願及其管轄廳ヲ經ザルモノハ
 此例ニアラス故ニ此類ヲ差出スルハ之ヲ

差出元、相返シ書狀税ノ一倍ヲ拂ハシムベキ事

右書類ノ名宛ハ其官院諸省等ノ長官ノ姓名或ハ官名ヲ以テスベシ若シ私ノ音信ガ、ハ文意有之候ハ其受取人ヨリ書狀先拂例ヲ以テ其税ヲ拂ハシムベキ事
田若シ受取人ニテ其税ヲ拂ハサル節其郵便物ヲ不相渡之ヲ差出人ヘ相返シ二倍ノ税ヲ拂ハシムベキ事

書狀届方相違或ハ遅延等ノ儀ハ月解通泰及ヒ郵便役所ヘ宛テ差出ス書狀總テ無税ノ事

總テ郵便御用向一付往復ノ書狀ハ無税ノ事但長書ノ郵便御用向ト可相認事

○新聞原稿

驛通頭、通送免許有之諸新聞社ヘ報知スル新聞原稿ハ通送配達共總テ無税ノ事重量ハ四匁以下ニ限ルベキ事

帶紙或ハ開封ニテ検査シ易キ様致シ可差
出事

但帶紙或ハし包ヘ報知スベキ新聞紙本社
及ヒ報知者ノ姓名地名等ヲ詳細ニシテ一
月ニ見易キ様ニ相記シ且朱ニテ新聞原稿
ノ記スベキ事

原稿紙中ニ他ノ封物ハ勿論報知スベキ事柄
ノ外ハ一語タリ正書状ガ、リタル文字或ハ
暗號隠語等ヲ書載スハカラザル事

右規則ノ犯スルハ其原稿ノ報知者ハ差戻シ
書状税ノ一倍ヲ拂ハセ又報知者ノ姓名宿所
不分明ナルハ之ヲ止メテ廢紙ト為スベキ事

○日誌新聞紙物價公報及公文書

諸官廳ヨリ刊行印刷シテ發スル官務ノ日誌
布令布達公文書類及ハ驛遞頭ヨリ遞送免許
ヲ得タル新聞紙及ヒ物價公報等ハ全國ヲ通
ジテ一箇一錢ツ、二箇以上ヲ一束ニシテ一
ヶ所ヘ差出スルハ目方十六匁以下十六匁迄

二錢十六匁以上卅二匁迄四錢以上皆此割
合ノ以テ目方十六匁迄毎ニ二錢宛ノ税ヲ加
ヘ可拂事

但地方廳ヨリ其一管内ノ頒布スル官務ノ
日誌布令布達公文書ノ類刊行印刷シタル
モノ及ヒ一市内往復ノ新聞紙ハ本文税額
半減ノ事

郵便役所郵便取扱所無之在村ヘ差出ス片ハ
割合税ノ外一箇ニ付一錢宛ノ増税ヲ可拂

事

但増切手無之節ハ届先ヨリ其一倍ノ税ヲ
拂ハシムベキ事

税先拂ニテ差出タル日誌新聞紙類ハ届先ニ
テ定式割合ヨリ一倍ノ税ヲ可為拂又宛分
ラザル税ヲ拂ヒ置キタル分モ同様其不之
之一倍税ヲ拂ハシムベキ事

前ニ掲ノ日誌其外公文書ト雖モ一号一種ノ
紙數二十枚以上ニ及ビ或ハ表紙附小額製

モノハ此限外ニシテ則チ第四拾八条書籍ノ
税ヲ拂フベシ事

日誌布令公文書及ヒ新聞紙ト雖モ一度發知
シタル後ニ至リ數部數号ヲ集纂シテ一冊ト
ナシタルモノハ書籍トシテ第四拾八条書
籍税ヲ可拂事

新聞紙ハ其發知人ヨリ具一部ヲ驛遞寮ニ差
出シ定税ヲ以テ遞送配達ノ免許ヲ請フベシ
此免許ヲ得ザルモノハ書籍税ヲ可拂事

新聞紙發知人ヨリ一市内ノ配達生ノ書留書

ト定例ヲ以テ配達セシムル額出ハ日ハ一箇

ニ付二厘五毛ノ帶封印紙ヲ付ト渡事

新聞紙ハ毎月三冊以上出版スル者ニ限ルベ

シ是ヨリ少キモノハ書籍ト可見認事

日誌其他ノ公文書及ビ新聞紙類ヲ疊メハ其

其標題或ハ番号或ハ發行ノ官廳名等ノ内其

信標トナルベキ部分ヲ一月ニ見ユル様ニシ

之ヲ帶ニテ結ビ封致シ差出スハシ若シ上

第四十二

包致スル兩端ノ明リ置テ調ベ易ク採一スニ
シテ此規則一達ニ封ニ置ケルハ書状ニ
テ取扱ヒ一倍ノ不足税ヲ届先ヨリ可為拂
萬一日誌新聞紙及ヒ前ニ掲ル公文書等ノ
ニ郵便切手無之付物差入有之ハ之ヲ取出
シ先拂税書状ノ例ニ可取扱事
日誌新聞紙及ヒ前ニ掲ル公文書等ノ内ハ以
テ宿所姓名ノ外用向ノ文言ハ勿論聊ニ
又書状ガ一日ハ文面ヲ認メ有之時ハ其日

第四十三

第四十四

第四十五

誌新聞紙ノ總テ書状ト見ノシ不足税書状ノ
例ニ可取扱事
日誌新聞紙ノ類數箇數種ヲ束ナテ差出スル
其一把ノ日方二百枚ヲ限リ一束ノ大サ長一
尺幅七寸厚三寸迄ニ可限事
格別至急ノ配達ヲ要スル者ハ第四條五條ノ
通可致事

○書籍類并見本品

上版及ヒ筆書ノ書籍并印刷シタル報告書地

圖寫真繪圖面ニ至ル迄無封カ開キ封一ヲ差
出シ候ハ、左ノ割合ノ税ヲ以テ輸送可致セ
遙奔猥雜ノ書如歌淨瑠璃唄本等ノ書類ハ此
例ニアラサル事

但シ寫真ハ硝子板并箱縁等ノ附屬品ハ差
出申間鋪ノ事

筆書及ヒ寫本ハ必ス文章ノ體裁書籍ノ性質
ヲ具スルモノ及ヒ表式ノ罫紙ニ地名物名類
字等ヲ記入スルモノニ限ルベシ勘定帳日記

帳等ノ如キ帳面類ハ此限ニアラサル事
其本業商品ノ見本ヲ同業ニ差送候ハモ無封
切開封ニテ差出候ハ、同様左ノ割合ノ税ヲ
以テ運送可致事

書籍見本ノ税ハ國內ヲ通シテ目方八匁以下
ハ又迄ハ二錢八匁以上十六匁迄ハ四錢以上
此割合ヲ以テ目方八匁迄毎ニ二錢宛ノ増シ
テ拂フベキ事

但市内限リノ分ハ本文割合半減ノ事

郵便役所及ハ郵便取扱所無之在村ハ差出ス
ハハ右割合税ノ外ニ目方ニ拘ハラス一箇ニ
付一錢ノ増税ヲ可拂事

先拂税并不足税ノ一倍ヲ為拂候規則ハ書状
其他ト同様ノ事

別段至急ノ配達ヲ要スル者ハ第四条五条ノ
通り可致事

總ハ水業ニ無之品或ハ注文出来上リ品或ハ
進物贈物等ヲ水業品ノ見ホト付成ニ差出シ

候ヲ双方ノ地有之郵便役所及ハ取扱所ニ
テ見留候節ハ書状税ノ割合ニ依リ其不足分
ノ一倍ノ可為拂事

聊タリ正無切手ノ封物或ハ書状ノ類ハ書籍
見ホ品ノ内ハ差入ニカラス若シ右様ノ封物
アラバ取出シ先拂書状税ノ例ニ可取扱事
送り先ノ姓名宿所并送り人ノ名前其外高業
ニ用フハ店印等ノ外ハ相場書直段書引札類
ノ文言其他見ホ品差送り候云々ニ至ル迄版

行ニテモ華書ニテハ書状ガ、リタル文言ハ
 決シテ書載セ張付ベカラズ若シ此規則ニ違
 ヒ候節ハ不殘書状ト見テ不足稅書状ノ例
 ニ可取扱事
 種物藥種類等ノ是非正上包入用ノ分モ壞或
 ハ箱或ハ布木綿等ノ袋ニ入レ紐ニテ結ビ訥
 ヲ易キ様ニ致レ差出ムベシ若シ其通り不致
 封ジコレルハ其包ヲ書状ト見テ不足
 稅ノ例ニ可取扱事

但壞ハし箱等ニ入レ破レザル様最モ嚴重
 ニ手當致シ候ニアラザレバ遞送不差許候
 事

見水品・價高直ノ物ニ候ハ、別段書留郵便
 ・手數可致事
 書籍并見本品ノ目方ハ二百目其大サハ長一
 尺幅七寸厚三寸迄ニ可限事

郵便信書ノ數多クシテ一時ニ差立テ難キハ
 ハ書籍及見水ハ次便ニ延スル可有事

○別段書留郵便

書狀新聞紙書籍并見本品元ヨリ繼立方届
ケ方氏相違アルベキ筈ハ無クモ此多分ノ書
狀多分ノ箇所ニテ取扱フ事故此度間違無之
元必シ難シ故ニ總テ大切ノ品ハ一封或ハ一
箇ニ付本額郵便税ノ外ニ一市内ヲ除クノ外
國內相通シテ皆四錢宛ノ手数料ヲ拂ハ別段
書留郵便ニ可致事

但一市内ハ本文手数料半減ノ事

書留郵便ニテモ必ズ賊難等ニテ紛失セザル

ニ非ス一雖此差出シ地ヨリ到着ノ地迄全道

継場ノ驛々ニテ之ヲ書留ノ置クニ由ラ其蹤

跡ヲ尋子易ク又是ヨリ生ヌル他ノ難害ヲ防

ク手立モ為シ易シハ萬一其筋ノ役人等怠慢

粗漏ノ取扱ヨリシテ之ヲ紛失スルヲアラバ

嚴重ノ處分可有之事

價貴キ品物ヲ書留手数料ヲ為リスレテ差出ス

片ハ甚タ賊難ヲ受ケ易ク殊ニ之ヲ扱フ人圖

ラズ惡念ヲ生スベキ其媒トナルヲレバ何
様役所ヨリ法ヲ嚴ニシテ術ヲ盡スト云フト雖
此之ヲ安全ニ配達シ難シ故ニ高價ノ物ト見
受ケ又大切ノ品ト見留ルルハ書留郵便ニ取
扱ヒ其届先ニ達スルハ一倍ノ手数料可受取
事

書留郵便ヲ差出スルハ其表封ハ朱ニテ書留
ト記シ置クベシ且此ノ郵便ヲ差出スルハ必
ズ役所ニ持来リ曉ト受取證ヲ請取ルベシ決

シテ郵便箱ハ差入ルマカノ事
書留郵便ノ手数料モ必ズ郵便切手ノ以テ相
拂ヒ其郵便物ハ振付可申事

○郵便役所留置書状

是ハ内外ノ旅人其地ニ住所ヲ定メ
ル者ノタメニ設ル法ニシテ喻ヘバ大
坂ノ人東京ヘ向テ出立スルハ家内或
ハ友人ニ告テ曰ク我レ東京ニ着シテ
後何レノ方ニ止宿スルカヲ定メ難シ

故ニ要事ヲ報知セシハ書状ノ表書
 ニ東京郵便役所留置ト認ムレ我レ
 時々役所ニ往キテ來書アリヤト尋
 問ノミレト約シ置キシニ依リ其約ノ
 如ク差出レクル書状ヲ云フ
 留置書状ハ其地ニ突ケ所ノ郵便役所及ヒ取
 扱所有之候ニ其重立タル役所ニ限リ留置キ
 候事
 此書状ヲ受取ルハ何處ヨリ何肆ノ名當レ

タル書状ヲ受取度先々證書ヲ可差出若シ
 其書状書留郵便或ハ金子入有之時ハ外
 證據人ヲ可差出事
 但外國人ハ其國ノ通行手形ヲ一檢ノク
 可差出事
 三月月ノ間留置キ猶受取人無之ハ其差出
 水江送り迄々レ若シ其差出シ本ノ宿所如
 名無之ハ没書ノ例ニ可取扱事
 (一)金子入書状

郵便ヲ以テ金子入書状ヲ遞送スレバ賊難基
 ザ防キ難ク唯其書状ヲ失フノミナラズ是レ
 ト共ニ遞送スル他ノ書状ノモ相失ヒ公私ノ
 大害ヲ生スベキ故嚴シクノレヲ禁止スレト
 金錢ノ遣取リヒ亦人ノ交際ニ於テ欠クハ
 カフザルノ要件ノレバ追テ郵便為替ノ法ヲ
 開キ小數ノ貨幣自在ニ往復スルノ道ヲ通
 ルノ日迄陸運元會社ハ申付ク國內通ク其土
 地々ノ模様ニ隨ヒ或ハ毎月五六回若シクハ

二回一回ツ、左ノ割合ノ遞送料ノ以テ金子
 入書状ヲ遞送ヒシ候事
 小數ノ金ヘ端錢ヲ取交セ郵便ニテ送ル片運
 送料ノ費ヲ省カント欲ヒハ其錢ノ代々郵便
 便切手ノ以テストモ妨ケ無之事
 貨幣ノ遞送配達ハ驛遞頭ノ權限外タリ故ニ
 金子ノミナ送ル者ハ郵便役所ヘ差出サハ直
 チニ陸運元會社ヘ相托シ或ハ他ノ飛脚等
 相頼ミ候儀ハ勝手タルベシ然レモ書状中ニ

郵便役所或ハ取扱所ニ限ルベシ故ニ市横濱神戸長崎箱館其他ノ大市ニテ何ノ所ニ役所又ハ取扱所有之土地ニ於テハ別ニ其地ノ本役所ハ差出スベキ事

金子入書状ヲ差出ス者ハ必ス其差出タル役所或ハ取扱所ノ押切判有之正シキ受取證書ヲ取り置クベシ受取證書無之ハハ失等ノ悉シレアル正一切取調方致サル事
第四

條第五條ニ記ス書状ト同斷ニ可致事

郵便役所并取扱所ニ無之在村ハ差出ス分ハ

右通送料ノ外ニ三錢ツノ配達料ヲ可拂事

但格別遠方ノ村落ハ配達スルハ其地相

當ノ賃錢届先ニテ可受取事

金子通送料并配達料共正錢ヲ以テ可拂郵便

切手ニテ不可拂事

一度一差出ス金子ノ高ハ五十圓迄ニ可限事

郵便役所ハ金子ノ賦難紛失ヲ償ハバト雖モ

之ヲ適送ノ際賊難紛失等ノ事アラハ陸運元
會社ヨリ償ハレハレ然レハ天災地異ノ大
變ヨリ其金子ヲ保護安全ナラシムベキ間ニ
无ク又術モ無ク事實是非モキ場合ヨリ失ニ
シ歟或ハ強盜大賊ノ為メニ其率領ノ者殺害
或ハ重傷ヲ受ケ之ヲ保護スルニ力盡キ失
ヒタルニ事實相違無之時ハ之ヲ償ハシムル
ノ道理無レ之事

(一) 郵便切手

第七十八

郵便切手ノ面ニ墨點其他ノ汚点及ヒ換紙
減ミテ明瞭ノ検査ニ難キモノハ正シキ切手
ト見認メザル事

第七十九

郵便切手ハ官許ヲ得大書ノ看版無レ之家ニテ
賣出シ又ハ其家ニ於テ買取ルベカラザル事
第一等ノ郵便役所ニテハ何人ニ限ラズ不用
ノ郵便切手ヲ賣戻度者ハハ一割ノ減ヲ以買
戻シ可達事

第八十

但宿所姓名等不相分且正シキ證據無レ之者

ハ買戻レ不遣事

一宿所姓名相分リ懽ナル者ニテモ郵便切手ノ表摺シ又ハ剥ケ漆ミ濡跡等ノ損シ有レ之モノハ決シテ買戻不致事

一准一枚ノ郵便切手ハ買戻サスルクトモ四枚以上一ト続キニナリタルモノニ可限事

○郵便封書

一郵便切手、錢二錢四錢六錢之模様ヲ摺リ出シタル書状囊ノ左之割合ニテ賣下候事

長形	二錢税之分	二錢四厘
四錢税之分	四錢五厘	
六錢税之分	六錢六厘	

角形	一錢税之分	一錢三厘
二錢税之分	二錢四厘	
四錢税之分	四錢五厘	

一此封囊ハ東西兩京大坂橫濱神戸長崎函館三府四港郵便役所於テ一時五十箇以上ニ買

ノ者ハ定額之五分減百箇以上ナル時ハ一割減ヲ以テ買ヒ得ヘキ事

此封囊之用ニ方ハ一封ニテノ重量ニ随ヒ定税之切手ヲ張付ル時ト総テ同様ニ相心得可申故ニ不足税或ハ増税之事ハ皆郵便規則之通リ可心得事

○海外郵便仮手續

即今既ニ各國政府、郵便交換御條約御協議中ニ付不達外國郵便規則御制定可相成候得

其先ッ段ニ方ノ手續ヲ以テ傳送致シ候條其旨相心得外國へ信書等差出度者ハ東京驛遞察ハ相向テ可申出事

右申出候節ハ其書狀ヲ上包致シ是ニ左ノ難形ノ通リ東京驛遞察御中ト認メ且朱ニテ外國郵便差出シ額ト可認事

東京

驛遞察

御中

未
外國郵便差出願

郵便切手

郵便切手

郵便切手

郵便切手

總テ書状其外其外國ニ於テノ宿所地名委數
相認可差出事

先方ノ宿所地名横文字ニテ認兼候者ニテモ
其横文字ノ宿所書有之候ハ、是ヲ驛通察ヘ
可差越同察ニテ其文字相認可遣事

但右横文字ノ宿所書取次ニ度者ハ其旨中
越且一通今ノ郵便切手包ミ入可差越事
先方ノ宿所慥ニ不相分候其國名并地名ハ慥
ニ相分リ居候ハ、屆方取計可遣事

但宿所地名ハ相分リ候カヨリモ自然遲延
候儀可有之事

外國江差出ス書状等ハ左ニ記載スル各國郵
便税ノ表ニ照シ其重量ニ隨テ相當ノ税ヲ我
郵便切手ニテ相拂可申事

但外國江差出ス書状等ハ都テ税先拂ハ不
相成事

○各國へ郵便税ノ表

國名

青狀之部

新聞紙

書籍

之

部

見本類

手數

英吉利

千四錢

四十八錢

二千四錢

四錢

四錢

八錢

十六錢

同斷

書籍

八錢

伊太利亞

千四錢

四十八錢

二千四錢

四錢

四錢

八錢

十六錢

同斷

書籍

八錢

而地才

千六錢

七十三錢

三千六錢

同斷

書籍

八錢

十六錢

三千二錢

同斷

書籍

十六錢

魯曲北

千三錢

八十四錢

四千二錢

同斷

書籍

八錢

十六錢

三千二錢

同斷

書籍

十六錢

羅里亞

千三錢

八十四錢

四千二錢

同斷

書籍

八錢

十六錢

三千二錢

同斷

書籍

十六錢

巴丁

千三錢

八十四錢

四千二錢

同斷

書籍

八錢

十六錢

三千二錢

同斷

書籍

十六錢

小

千三錢

八十四錢

四千二錢

同斷

書籍

八錢

十六錢

三千二錢

同斷

書籍

十六錢

小

千三錢

八十四錢

四千二錢

同斷

書籍

八錢

十六錢

三千二錢

同斷

書籍

十六錢

北

千三錢

八十四錢

四千二錢

同斷

書籍

八錢

十六錢

三千二錢

同斷

書籍

十六錢

香

千三錢

八十四錢

四千二錢

同斷

書籍

八錢

十六錢

三千二錢

同斷

書籍

十六錢

和蘭陀

千三錢

八十四錢

四千二錢

同斷

書籍

八錢

十六錢

三千二錢

同斷

書籍

十六錢

澳地利亞

千三錢

八十四錢

四千二錢

同斷

書籍

八錢

十六錢

三千二錢

同斷

書籍

十六錢

廣

千三錢

八十四錢

四千二錢

同斷

書籍

八錢

十六錢

三千二錢

同斷

書籍

十六錢

加那太

千三錢

八十四錢

四千二錢

同斷

書籍

八錢

十六錢

三千二錢

同斷

書籍

十六錢

佛蘭西

千三錢

八十四錢

四千二錢

同斷

書籍

八錢

十六錢

三千二錢

同斷

書籍

十六錢

字漏生

千三錢

八十四錢

四千二錢

同斷

書籍

八錢

十六錢

三千二錢

同斷

書籍

十六錢

右外國郵便稅、外各地ヨリ東京驛逋察迄、
郵便稅、ハ内國定ノ通リ可拂事

同國ノイ	河ニ治ヲ州	亞米利加	政洛國	三	上	日耳曼各州	瑞	瑞
四十錢	八十錢	十錢	十錢	平六錢	八錢	三十錢	平六錢	平六錢
四十錢	四十錢	二十錢	二十錢	九十一錢	十六錢	平八錢	九十一錢	平六錢
		十錢	十錢	平六錢	八錢	三十四錢	平六錢	平六錢
		六錢	六錢	八錢	二錢	書籍	六錢	六錢
				同書狀		同斷	同書狀	同斷
		六錢	六錢		六錢	八錢		八錢
		十二錢	十二錢		十二錢	十六錢		十六錢
		有錢	有錢		六錢	平三錢		平三錢
		同斷	同斷		同斷	同斷		同斷
書狀有錢二倍	書狀有錢二倍	十六錢	十六錢		八錢	十六錢		十六錢

卷之十一

書留郵便、故、候分、外國手數料、外別改
國內手數料之、通、商、自、四、銭、可、拂、事
右税、拂不足有之候節、一、驛、道、察、一、分、ノ、立、替
拂置追、其不足今ノ倍、可、爲、拂、事
外國、リ、到、著、書、狀、等、ハ、國、内、郵、使、規、則、ノ、通
リ、大々受取人、相達司申事
但此今ハ税先拂、候トモ其一倍ハ不受取
候事

○沒書

是ハ表書ノ認方不充分ナル歟充分ナルニ似テ其認方ニ相違アル歟或ハ届ケ先ノ者舉家轉住セシ等一ツ之ヲ配達シ能ハス又其差出人ノ姓名宿所セ不充分ニ認ナルヨリ之ヲ差出元ヘ戻シ能ハサルモヲ云フ

前記ノ事故内ヲ配達シ難キ信書等ハ先ノ驛庭寮檢留物掛ハ收集ノ表書ニ就テ再次再之ヲ判斷シテ配達及返戻ヲ試ミテ以

ラ幸ニ配達返戻シ得ルハ此場合ニ於テハ時日遷延アルバト事

檢留物掛ト官ニ於テ其配達或ハ返戻ノ試ムルト雖モ其目的ヲ達セサルハ之ヲ没書ト名リ驛庭寮没書課ヘ相廻シ此課ニ於テ同寮頭ヨリ没書開封ノ權ヲ附與セハ七官之ヲ開封シ其書中ニ就テ差出人及ヒ受取人ノ姓名地名ヲ索メ或ハ文中ニ拠リ配達返戻ノ因由ヲ搜ルベシ故ニ之ヲ配達返戻シ得ル

此開封ニ付テ異議苦情アルヘカニ付テ事
 開封シ、百方其配達返戻ノ道ヲ求ルト雖モ
 終ニ之ヲ得サルハ六ヶ月間其没書ヲ同評
 ニ留メ置ト猶左ノ手續ノ為メバ、事
 郵便報知新聞附録刊行毎ニ没書ノ表面ニ認
 メタル文字ヲ記シ置候條受取人差出人ノ内
 ナラハ之ヲ受取り度旨又其親族朋友等ニ
 其誰何タルヲ知ル者ハ皆無税郵便ヲ以テ同
 課ヘ申出テ或ハ報告スベキ事

既ニ六ヶ月間ヲ過キテ後猶之ヲ達シ或ハ返
 スバキ人死シ付ハ之ヲ同寮頭ノ眼前ニ於テ
 三人以上ノ照會人ヲ以テ焼捨ツベキ事
 没書中ニ有之品物其價无キハ其ニ焼捨テ其
 價アルハ政府ノ所有ニ屬スバレ既ニ焼捨ノ
 期ヲ過ルノ後ハ何様ノ申出之アルモ一切取
 上不相成事

○雜則

郵便ヲ配達スルハ其本人ノ姓名ニ關ヒス其

肩書ヲ目的トナシテ配達ス故ニ其肩書ニ何
省何寮司何役所ト記シヨレアルハ勿論何地
何某内何屋某方ト儘ニ認有之ハ其書狀ヲ
本人其役所或ハ家内ニ配達スヘシ故ニ若シ
其本人居合サス又ハ他ニ轉シ且其姓名ノ覺
ハ有ル無キニ拘ハラズ一旦之ノ其役所或ハ
其家ニ受取り其者不在ナレハ之ノ其所ニ留
メ置ケル其出先或ハ自宅ニ達シ轉居ナラハ
其轉シタル地名ヲ委シテ其書狀ニ書加ヘ再

ヒ郵便ニ差出シ又其姓名ニ覺ハ无レモ他
其者其家ニ来リテ之ヲ受取ルヘシアルベ
シハ半月若クハ一月ノ間其處ニ留メ置キ然
レテ後ニ其旨斷リ書ヲ添ヘテ郵便役所或ハ
取扱所或ハ官場ハ可差戻事
先拂或ハ不足税ヲ拂フコト拒ム者ハ之ヲ開
封セザル以前役所ハ差戻スベシ一旦之ヲ開
封セシ上ハ必ス拂ハシムベキ事
受取りタル信書ヲ開封ノ後既ニ拂ヒタル先

拂或ハ不足税ニ付議論ヲ生スルハ役所ニ於
テハ之ニ關係無之事

信書等ノ長名疑似スル者ヲ誤テ開封セシ
ハ速ニ之ヲ最寄郵便役所ニ持参シ其疑似
ル所以及ヒ誤テ開封セシ次第ヲ書記シテ
通頭ハ届々出バキ事

書籍其外郵便ニテ可差送品物途中ニ
致シ候共役所ヨリ決シテ償等ハ不致候故
破損ニ易ハ品ハ充分其憂無之様ナリ當
イタシ

差出レ可申事

郵便役所ヲ經テ傳輸致シ候書狀并包物等何
様ノ人ニ候共途中ニ於テ受取候儀ハ勿論其
家ニ配達スルヲ待チ兼テ役所或ハ取扱所ニ
於テ直チニ自分ハ受取度節ハ證據人可差出
事

但私書函ヲ借リ置ク者ハ此例ニテラザル
事

何人ニ限ラズ一々年金三圓ノ借料ヲ拂フニ

於テハ私書函ヲ可借得事

但未カ私書函製造相成ラザル地ハ代用ノ方法役所ハ可問合事

萬一稅ノ拂過アルト思フ時ハ開封不致以前

役所或ハ取扱所ハ持出シ目方掛ケ改メ其

拂ヒ過ノ分ハ下リ戻可申尤品物ニヨリ濕氣

アル節ト乾キタル時トノ差モアルベキ事ニ

能ハ其邊ハ可心得事

郵便役所ニ於テハ尋常ノ郵便物ハ勿論書留

郵便物ト雖ヒ之ノ送り違ヒ係リ誤リ或ハ不

達及ヒ損害セリハ生シタル損失不便宜ノ

辨償スルノ責ニ當ラサバ法則ニスル事

總テ郵便役所ニ召使ヒ候書狀配リノ者モ私

書狀等ノ取次致シ候儀ハ不相成規則ニ付

右ノ者モハ守リ以テ書狀等ノ配達方相頼候

儀ハ致ス間敷事

郵便配達ノ者配達ノ節酒代或ハ配達料ト名

シ金錢乞受候事ハ勿論役所或ハ取扱所ヨリ

郵便切手ヲ朱ニテ消シタル紙ヤノ受取證書
 ヲ遣ハサルニ金錢ヲ受取候様ノ事有之節
 ハ早速其旨無稅狀ヲ以テ東京驛通察或ハ大
 坂出張所ハ相届可申事
 先拂稅并不足稅ノ書狀等ハ其稅ノ一倍支ケ
 郵便切手ヲ取付朱ニテ消シ有之候間早ヲ目
 的トシテ無得滯可相渡若シ其日不相拂翌日
 受取トシテ使差遣レ候節ハ一倍ノ增稅受取
 ベク若シ再三相成候得ハ其都度毎一倍宛

ノ增稅ヲ可為拂然レ此度數ハ最初配達ノ
 時ヲ除キ五度ノ可限事
 先方姓名宿所書ニ誤リアル歟充分ニ認メザ
 ルカ或ハ舉家轉住ノ後ニテ宿所不相分節ハ
 其書狀等ヲ差出人ノ宿所ハ相返レ可申尤表
 書ニ差出人ノ宿所無之時ハ之ヲ沒書ト名ケ
 驛遞本察沒書課ニテ開封ノ上可取調若シ又
 書中ニモ無之片ハ新聞紙ヲ以テ之ヲ公告シ
 且半ケ年ノ間留置其後取捨可申事

但封中ニ品物有之候ハ、政府ノ所有ト可
相成事

尋常ノ郵便物ヘ竊ニ通貨ヲ封入セシト見認
メタルハ驛逋頭ノ權ヲ以テ其差出人或ハ
受取人其他之ヲ開封スベキ道理アル者ニ令
シ驛逋察官負及ヒ其筋ノ者ノ目前ニ於テ之
ヲ開封セシムベキ事

竊ニ通貨ヲ封入セシモ、ト察スルニ理アル
セノハ之ヲ役所ニ留置陸運元會社ノ郵便ヲ

待テ之ヲ開封スベキ道理ヲ持テル人ノ地ニ
達スベシ故ニ此場合ニ於テ延著ノ次第ナル
ベキ事

能ク箱詰等ノ手當無之壤井ニビイドロ類鉄
小刀判刀針釘其外總テノ切レモノ并ニ箱詰
ノ有無ニ不拘虫鳥獸魚ノ生肉生菓物野菜酒
漿水藥早附木燭硝類其他製藥類等烈シク火
ヲ發スベキモノ右等ノ品ノ如キハ郵便行囊
ヲ損ジ且共ニ入レアル他ノ書狀等ヲイタス

其ノキハ人ヲ害スル品物ナレバ決シテ差出
スベカラズ若シ右様ノモノ有之封物ト見受
クルハ其地ハ留置ヤ硝磺等ノ發火ニ易キ
品ハ其筋ハ達シ腐敗物ハ投棄シ其他ノ品ハ
差出人ハ自身罷出可受取旨相達且為手数料
十錢可為拂事

但相達ニ候後半々年相過候ハ、其品打捨
可申差出人不相分節モ同断ノ事
書狀其外郵便物ヲ差出ス時必ズ其差出人ニ

テ其目方ヲ秤量致スバシ役所并取扱所ニ於
テハ其差出人ノ為メニ之ヲ秤量不致事

但外國ハ差出ス分ハ此例ニ非ラサハ事
第一月第一日ハ郵便休暇ニ自書狀其外凡受
取渡不致事

但途中ノ遞送ハ此限ニテラザル事

○郵便ヲ差出ス人ノ心得

郵便税ヲ拂フニハ其郵便物ノ目方ニ應シタ
ル郵便切手ヲ能ク其品ニ張リ付ケ置クベシ

決シテ正金錢ニ拂フベカラバ若シ正金錢
 ニテ拂フキハ郵便取役所ノ混雜ヨリ先拂税
 ト取違ヒ其郵便ヲ受取ル人ヨリ一倍ノ税ヲ
 拂ハヤ候様ノ過チヲ起シ又正金錢ヲ書状ニ
 添ヘテ郵便箱ヘ入レ置クキハ之ヲ集ル者ノ
 惡心ヲ生シ公私自他ノ不都合ヲ生シ候ニ付
 能ク此旨ヲ可心得事
 郵便ヲ差出スニハ左ノ出發時刻及日割ノ表
 面ニ照シテ差出ベシ其差出時刻ニ依リテハ

大ニ遲達ノ損失可_レ有_レ之儀ニ付徒ラ一時日ヲ
 費サ_レル様注_スル事
 郵便箱ヘ金子入書状ヲ差入レ置キノバ自然
 コレヲ集ムル旨ノ良心ヲ害シ差出人ノ損失
 フ生シ候ニ付屹度心得慎ムベキ事
 郵便役所ノ配達ハ時刻ノ定メ路次ノ順叙ノ
 リテ多少時間ノ費アレバ商業烈シク往復ヲ
 要スルモノハ役所ニ備_ル私書函ヲ借置マ
 各地ノ郵便到着ヲ量リ已レニ達スル書状ハ

直ニ受取ルベキ手筈ヲナスモ肝要ナルベキ事

郵便役所及取扱所無之在村裏差出ス書狀別
シテ定式差出テ新聞紙如キハ無テ請取人
ト申合セ郵便役所留置書狀ノ振合致シ何
地郵便役所留置ト認メ差出マ方然ルベシ此
少ト雖モ増切手ヲ拂フノ費ヲ省キ且役所ノ
手数ヲ相減シ公私都合ノ事
郵便指書狀或ハ新聞紙ヲ差入ルベシ能ク

其品箱ノ底ニ落シテ否ヤヲ注意スベシ粗漏
ニ投テ込ムルハ或ハ箱ノ内縁リニ附テ或ハ
差入口ニ挿ミ出シ甚不都合ヲ生ズベキ事
日誌新聞紙等總テ帶封或ハ開キ封ニテ差出
ルハ帶紙或ハ紐ヲ十文字ニ仕掛テ散脱シ
ガハ様ニ注意スベキ事
郵便切手ハ書狀ノ表面ハ張目振方役所ノ便
利相成候故先方ノ名宛地名ノ誤ニ記シ切
手ノ場所ヲ明ク裏面ニ自分ノ宿所姓名相認

候様可致事

郵便切手ヲ張り付キニハ能ク其四隅ヲ嚙ミ
テ湿シ腕ト押付テ容易ニ離レタル様可致次
ニテ切手ヲ水中ニ入レ濡レテ後ニ張り付ク
ベカラズ表面ノ形ヲ損シ裏面ノゴキ糊流散
シテ離レ易キノ害ヲ可生事

但多數ノ中ニハ自然ニハ糊薄ヲモクモ
可有之ニ付貼用ノ節能ク之ニ注意シ若シ
薄クハ見受ルハ別ニ不精致ニ離レダ

様可致事

一書状等ノ表書ハ宛メニ精細綿密ニ先方ノ宿
所地名ヲ認ムベシ若シ成ルマクハ家ノ番付
ヲモ書キ載スベシ其表書ノ認方不充分ナル
ヨリ没書トナリテ要事ヲ欠キ且郵便役所ノ
手数ヲ煩ハスヲ夥シ又先方ノ宿所地名ノミ
ナラズ吾宿所ヲモ同様委シク認メ可置事
但書状袋ノ裏面ニ地名姓名ヲ印刷致シ置

クナド甚好マシキ事ニ候

九月十一日

東京府内并横濱江郵便差出時刻表

東京四日市役所各役場	箱場並新橋品川	神奈川
郵便七時半	七時六時半	八時
八時半	九時	九時半
午前便十時半	十時	十時半
府内便十一時半	十一時	十一時半
午後便三時半	三時半	四時半
四時半	五時半	六時半
夕便五時半	六時半	七時半
夜便十時	十一時	十二時

郵便配達時刻表

東京四日市役所各役場	箱場並新橋品川	神奈川
横濱	五時半	六時半
府内	八時半	九時半
朝便	十時半	十一時半
府内便	十二時半	一時
午後便	一時	二時半
四時半	五時半	六時半
夕便	七時半	八時半
夜便	九時半	十一時半

九月十一日

東京府内并横濱江郵便差出時刻表

東京四日市役所各役場	箱場並新橋品川	神奈川
郵便八時半	八時	八時半
九時半	九時	九時半
午前便十時半	十時	十時半
府内便十一時半	十一時	十一時半
午後便三時半	三時半	四時半
四時半	五時半	六時半
夕便五時半	六時半	七時半
夜便十時	十一時	十二時

郵便配達時刻表

東京四日市役所各役場	箱場並新橋品川	神奈川
横濱	六時半	七時半
府内	九時半	十時半
朝便	十一時半	十二時半
府内便	一時	二時半
午後便	二時半	三時半
四時半	五時半	六時半
夕便	七時半	八時半
夜便	九時半	十一時半

東京江郵便差出時刻表

横濱本町通役所	箱場	横濱	品川
朝便	七時半	七時	八時
	八時半	九時	九時半
	九時半	十時	十時半
午前便	十時半	十一時	十一時半
午後便	一時半	二時	二時半
	二時半	三時	三時半
	三時半	四時	四時半
夕便	四時半	五時	五時半
夜便	五時半	六時	六時半
	六時半	七時	七時半

郵便配達時刻表

横濱本町通役所

東京夜便 五時ヨリ

東京朝便 九時半ヨリ

東京午前便 十二時半ヨリ

東京午後便 五時半ヨリ

東京夕便 七時半ヨリ

東京江郵便差出時刻表

横濱本町通役所	箱場	横濱	品川
朝便	八時半	九時	九時半
	九時半	十時	十時半
午前便	十時半	十一時	十一時半
午後便	一時半	二時	二時半
	二時半	三時	三時半
	三時半	四時	四時半
夕便	四時半	五時	五時半
夜便	五時半	六時	六時半
	六時半	七時	七時半

郵便配達時刻表

横濱本町通役所

東京夜便 七時半ヨリ

東京朝便 九時半ヨリ

東京午前便 十二時半ヨリ

東京午後便 五時半ヨリ

東京夕便 七時半ヨリ

東海道筋西京大坂江八日午後一時半并夕七時一兩度
 差立有之其他遠國ハ何レモ夕七時差立候儀ニ付右
 表ニ記ス夕便迄ノ時刻割ニテ夫々便宜ノ場所江差出レ
 可申事
 表面時刻割ノ上ニ何便一記載無之ハ何レモ次便ヲ以
 配達致シ候儀ニ付格別差急キ候日ハ其郵便物江別
 配達ト記レ目方ノ輕重由敷ノ遠近ニ不拘一付定額
 郵便程ノ外ニ東京ハ八錢横濱ハ三錢宛増税切手ヲ張附
 差出レ候力或ハ東京ハ四日中横濱ハ水町通リ郵便役所
 一付私書函借請置着次第受取候様等可致事
 遠國ヨリ郵便ハ着次第可配達事

大阪府内并西京堺神戸兵庫
 伏水郵便差立時刻表

大阪八軒家役所 箱場并
 取扱所

朝便 八時半 七時半

晝便 十二時半 十一時半

午後便 三時半 二時半

夕便 五時半 四時半

夜便 九時半 八時半

郵便配達時刻表

地名 八軒家役所

西京伏水 夕便 八時半 四時

神戸兵庫 夜便 八時半 六時

府内 朝便 九時 三時

堺神戸兵庫 朝便 一時 三時

西京伏水 夕便 四時 三時

兵庫 夕便 六時 三時

市 中
捐 場

時

二十一時

五時半

西京府内并大坂堺神戸兵庫
伏水大津江郵便差出時刻表

郵便配達時刻表

西京姉小路役所		箱場並取扱所		地名		姉小路役所	
朝便	八時半	八時	時	府内	大坂伏水	朝便	九時ヨリ
夕便	十一時半	十一時	時	府内	大坂伏水	夕便	十一時ヨリ
府内	三時半	三時	時	府内	大坂伏水	府内	四時ヨリ
午後便	六時	五時半	時	府内	大坂伏水	午後便	六時ヨリ

東京各地往復郵便差立時刻記

地名	東京	各地	地名	東京	各地	地名	東京	各地
横濱	毎日	全	浦和	毎日	全	水戸	毎日	全
浦賀	毎日	全	川越	毎日	全	北條	二八	全
小田原	毎日	全	甲府	毎日	全	流山	毎日	全
韭山	五十四九	全	富岡	毎日	全	鉢形	丁日	全
静岡	毎日	全	高崎	毎日	全	上浦	毎日	全
濱松	毎日	全	前橋	毎日	全	水戸	毎日	全
岡崎	毎日	全	上田	毎日	全	磐城平	毎日	全
名古屋	毎日	全	養老寺	毎日	全	榑木	毎日	全

四日市	毎日	全	松本	毎日	全	宇都宮	毎日	全
津	毎日	半日	高山	二ノ日	五日	白河	毎日	全
山田	毎日	全	岐阜	毎日	全	若松	毎日	全
鳥羽	丁日	全	彦根	毎日	全	福島	毎日	全
上野	二七	四九	敦賀	毎日	全	米澤	毎日	全
大津	毎日	全	福井	毎日	全	山形	毎日	全
京都	毎日	全	小濱	七九	八二	仙臺	毎日	全
大坂	毎日	全	宮津	三九	四八	石巻	毎日	全
奈良	毎日	全	福知山	半日	丁日	登米	毎日	全
堺	毎日	全	豊岡	毎日	全	盛岡	毎日	全

和歌山	毎日	全	津山	毎日	全	宮古	十二日	全
新宮	二五九	三六九	鳥取	毎日	全	秋田	毎日	全
兵庫	毎日	全	松江	毎日	全	青森	毎日	全
神戸	毎日	全	濱田	毎日	全	函館	毎日	全
姫路	毎日	全	津和野	半日	丁日	札幌	毎日	全
岡山	毎日	全	萩	毎日	全	銭函	三八	全
笠岡	毎日	全	山口	毎日	全	小樽	三八	全
鞆	毎日	全	三田尻	毎日	全	福山	毎日	全
広島	毎日	全	赤馬関	毎日	全	江差	毎日	全
松山	毎日	全	小倉	毎日	全	酒田	毎日	全

東海道筋 中仙道筋 陸羽道中筋 中國并九州筋

往復地名	差立	往復地名	差立	往復地名	差立	往復地名	差立
全横濱	毎日	全横濱	毎日	全横濱	毎日	全横濱	毎日
全金澤	毎日	全金澤	毎日	全金澤	毎日	全金澤	毎日
全蒲賀	三六八日	全蒲賀	三六八日	全蒲賀	三六八日	全蒲賀	三六八日
全平塚	三八八日	全平塚	三八八日	全平塚	三八八日	全平塚	三八八日
全厚木	三六八日	全厚木	三六八日	全厚木	三六八日	全厚木	三六八日
全小田原	毎日	全小田原	毎日	全小田原	毎日	全小田原	毎日
全熱海	毎日	全熱海	毎日	全熱海	毎日	全熱海	毎日
全三島	丁日	全三島	丁日	全三島	丁日	全三島	丁日
全下田	丁日	全下田	丁日	全下田	丁日	全下田	丁日
全松崎	二七〇日	全松崎	二七〇日	全松崎	二七〇日	全松崎	二七〇日

往復地名	差立	往復地名	差立	往復地名	差立	往復地名	差立
全高松	毎日	全高松	毎日	全高松	毎日	全高松	毎日
全徳島	毎日	全徳島	毎日	全徳島	毎日	全徳島	毎日
全高知	毎日	全高知	毎日	全高知	毎日	全高知	毎日
全宇和島	一六	全宇和島	一六	全宇和島	一六	全宇和島	一六
全府内	毎日	全府内	毎日	全府内	毎日	全府内	毎日
全宮崎	毎日	全宮崎	毎日	全宮崎	毎日	全宮崎	毎日
全都城	毎日	全都城	毎日	全都城	毎日	全都城	毎日
全久留米	毎日	全久留米	毎日	全久留米	毎日	全久留米	毎日
全福岡	毎日	全福岡	毎日	全福岡	毎日	全福岡	毎日
全佐賀	毎日	全佐賀	毎日	全佐賀	毎日	全佐賀	毎日
全長崎	毎日	全長崎	毎日	全長崎	毎日	全長崎	毎日
全巖原	六回	全巖原	六回	全巖原	六回	全巖原	六回
全熊本	毎日	全熊本	毎日	全熊本	毎日	全熊本	毎日
全八代	毎日	全八代	毎日	全八代	毎日	全八代	毎日
全鹿児島	毎日	全鹿児島	毎日	全鹿児島	毎日	全鹿児島	毎日
全新潟	毎日	全新潟	毎日	全新潟	毎日	全新潟	毎日
全相川	毎日	全相川	毎日	全相川	毎日	全相川	毎日
全柏崎	毎日	全柏崎	毎日	全柏崎	毎日	全柏崎	毎日
全高田	毎日	全高田	毎日	全高田	毎日	全高田	毎日
全富山	毎日	全富山	毎日	全富山	毎日	全富山	毎日
全金澤	毎日	全金澤	毎日	全金澤	毎日	全金澤	毎日
全美川	毎日	全美川	毎日	全美川	毎日	全美川	毎日
全七尾	三七五九	全七尾	三七五九	全七尾	三七五九	全七尾	三七五九

東海道筋 中仙道筋 陸羽道中筋 中國并九州筋

全相良	三八ノ日	全大町	九日	全山	毎日	全姫路	半日
全柏原	三八ノ日	全新町	九日	全三春	毎日	全豐岡	丁日
全豐橋	半日	全太田	毎日	全磐城	二六ノ日	全片島	三八ノ日
全田原	半日	全桐生	毎日	全三春	二六ノ日	全室津	三八ノ日
全豐橋	丁日	全小庄	毎日	全若松	三八ノ日	全岡山	毎日
全新城	丁日	全富岡	毎日	全黒澤	三八ノ日	全山	毎日
全岡崎	二五八ノ日	全富岡	一六三ノ日	全若松	一六ノ日	全大寺	毎日
全舉母	二五八ノ日	全下仁田	一六三ノ日	全高田	一六ノ日	全小寺	二五八ノ日
全岡崎	丁日	全高崎	丁日	全若松	二一ノ日	全岡山	半日
全曲尾	丁日	全宇都宮	丁日	全黒澤	四九ノ日	全高梁	丁日
全知立	二四九ノ日	全高崎	毎日	全黒澤	四九ノ日	全高梁	丁日
全龜崎	二四九ノ日	全前橋	毎日	全黒澤	四九ノ日	全高梁	丁日
全鳴海	二四九ノ日	全高崎	二六三ノ日	全西澤	三八ノ日	全七日市	毎日
全横濱	二四九ノ日	全波川	二六三ノ日	全野澤	三八ノ日	全笠岡	毎日
全名古屋	二七ノ日	全波川	二七ノ日	全若松	一六ノ日	全笠岡	毎日
全名古屋	二七ノ日	全小千谷	一六ノ日	全水宮	一六ノ日	全福山	半日
全熱田	二四ノ日	全沼田	一七ノ日	全塩川	三八ノ日	全板倉	毎日
全名古屋	二四ノ日	全沼田	一四ノ日	全小田	三八ノ日	全下津井	毎日

[illegible][illegible]

東海道筋

北陸道筋

陸前濱街道筋

中國并九州筋

高松	坂井	金沢	下鳥羽	上陸城	山崎	京崎	六地蔵	土水
半丁	隔日	隔日	隔日	隔日	隔日	隔日	隔日	隔日
小救	今救	今救	今救	今救	今救	今救	今救	今救
隔日	隔日	隔日	隔日	隔日	隔日	隔日	隔日	隔日
真壁	下加	喜連川	大黒羽	下鳥羽	北條	勝浦	水更津	水更津
六十日	三十八日	三十八日	二十八日	六日	丁日	四日	丁日	丁日
在成	伊万里	伊万里	佐賀	佐賀	佐賀	佐賀	佐賀	佐賀
三十八日	二十八日	三十八日	一六日	一六日	一六日	一六日	一六日	一六日

余良水	余良水	余良水	余良水	余良水	余良水	余良水	余良水	余良水
隔日	隔日	隔日	隔日	隔日	隔日	隔日	隔日	隔日
長川	長川	長川	長川	長川	長川	長川	長川	長川
隔日	隔日	隔日	隔日	隔日	隔日	隔日	隔日	隔日
前木	前木	前木	前木	前木	前木	前木	前木	前木
四日	四日	四日	四日	四日	四日	四日	四日	四日
有田	有田	有田	有田	有田	有田	有田	有田	有田
三十八日	三十八日	三十八日	三十八日	三十八日	三十八日	三十八日	三十八日	三十八日

山陰道筋

河和	河和	河和	河和	河和	河和	河和	河和	河和
池田	池田	池田	池田	池田	池田	池田	池田	池田
半日	半日	半日	半日	半日	半日	半日	半日	半日
郡城	郡城	郡城	郡城	郡城	郡城	郡城	郡城	郡城
二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日
太治	太治	太治	太治	太治	太治	太治	太治	太治
二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日

[illegible][illegible]

[illegible][illegible]

[illegible]

酒々井	成田	多古	八市場	千葉	馬加	撿見川	曾我野
濱野	野田	取手	小金	我孫子	藤代	岩井	布川
野尻	銚子	荒野	神崎				
常陸國							
下館	下妻	牛久	若柴	土浦	荒川	北條	石岡
田伏	玉造	麻生	潮來	大船津	龍ヶ崎	汲上	鉾田
小幡	長岡	水戸	水上	町石	神太	田助	川高
神岡	永	湊	真壁	笠間	江戸	崎木	原

安房國		上總國		姉ヶ崎	木更津	佐貫	栢橋	長南	茂原	大網	東金
				大多喜	八幡	五井	奈良輪	貞元	横田	牛久	竹ヶ岡
				湊	松野	金谷	市宿	六手	久留里	笹	勝浦
				大原	長者	本郷	成東	横芝			

馬場
近衛
春

伊豆國		相模國		本郷	上瀧田	市部	北條	館山	内浦	北小町	前原
				和田	竹原	天津					
				戸塚	藤澤	平塚	大磯	小田原	箱根	横須賀	浦賀
				松輪	三崎	上溝	久保澤	厚木	吉野	堀内	

三島	斐山	大仁	湯島	梨本	下田	松崎	石井
熱海							
甲斐國							
下鳥澤	下初狩	上谷村	勝沼	石和	甲府 ^x	市川	上野原
臺ヶ原	薙崎						
駿河國							
沿津原	吉原	蒲原	由比	興津	江尻	靜岡	

丸子	岡部	藤枝	嶋田	大宮	清水
遠江國					
金谷	相良	日阪	掛川	横須賀	袋井
氣賀	森	中泉	二俣	舞坂	新居
掛塚	拍原				白須賀
三河國					
豐橋	新城	田原	御油	赤坂	藤川
					岡崎
					西尾

鳥羽	志摩國	舉母池	立刈谷	足助海老西郡	二ヶ川
		尾張國			
		鳴海熱田	名古屋	箭ヶ須	稻置清洲
		横須賀	龜崎津島	小牧	布袋野
					勝川
					内津
					福田

伊勢國	桑名	四日市	神戸	石藥師	庄野	龜山	關	坂ノ下
	白子	上野	久居	松阪	山田	津	大石	宮前
	寒川	担鹿瀬	粟生	阿生	間弓	長野		
	伊賀國							
	上野	佐那具	拓植	平松	平田	島原	古山	名張

[illegible]

御所	五條土佐	上市龍田	今井漆田	筒井
上入田	二階堂			
河内國				
牧方守口	八尾	松原古市	富田林	岩室三日市
和泉國				
大津岸和田貝塚	信達堰	尾崎		

攝津國

有馬	大阪	尼崎	西宮	神戸	兵庫	三田	池田	伊丹
	御影	高槻	郡山	茨木	吹田	岡町	富田	平野

近江國

飯浦	高宮	愛知川	八幡	八日市	武佐	守山	土山
柏原	醒ヶ井	番場	米原	鳥居本	彦根	長濱	木之本

美濃國

西大路	水口	石部	草津	岡本	大津	海津	今津
塩津	河原中	大溝	堅田	宮川	中河内	山上村	春照
笠松	岐阜	上有知	加納	八幡	高須	大井	高山
岩村	關	竹	鼻墨	侯高田	番井	關原	大垣
北方	揖斐	中津川	御藏	野市場	今尾		

飛 彈 國

高山野麥 黍生谷

信 濃 國

下戸倉 藤井 善光寺 牟禮 飯山 松本 下諏訪 下桑原

塩尻 島遠 飯田 福島 大町 追分 小諸 上田

岩村田 輕井澤 沓掛田 中浦 野坂 木屋代 松代

丹波島 新田 野尻 稻荷山 青柳 菊谷 原千國 保高

上 野 國

伊那部 妻籠 敷原 宮越 奈良井 鵜川 本山 洗馬

和田 長久保 芦田 望月 八幡 塩名田 小田井 飯島

御堂埴外 松島 須原 大古間 麻績 福島 須坂 布施

中野 池田 柏原 内山

倉野 高崎 安中 坂本 館林 吉井 小幡 富岡

七日市 下仁田 前橋 境 太田 伊勢崎 桐生 川俣

金子	澁川	中ノ條	草津	沼田	玉村	大間々	中山
布施	永井	板鼻	松井	田藤	岡木	崎新	町鬼石
万場	神ノ原	三野	倉大	前長	野原	下白	井溝
湯原	高平	月夜	野澤	渡大	戸川	浦神	山市ノ
谷田	貝合	戰場	壬生	八木	梁田	犬伏	富田
野木	間々	田小山	天明	杉木	羽川	小金	井石橋
谷田	貝合	戰場	壬生	八木	梁田	犬伏	富田
下野國							

宇都宮	喜連川	大田	原白	澤上	阿久津	氏家	佐久山	鍋掛
越堀	芦野	真岡	藤縄	烏山	中德次郎	今市	玉生	
舟生	鉢石	黒羽	金崎	文挾	奈佐原	鹿沼	足利	

磐城國

植田	湯本	平四	倉廣	野富	岡新	山小	高
原ノ町	中村	新地	亘理	白坂	白河	小田	川矢吹
棚倉	三春	仁井	中寺	越河	白石	竹貫	上遠野

		馬
		近
		意

馬
通
客

院內	湯澤	横手	六郷	大曲	前和野	堺	戸島
久保田	土崎湊	一日市	森岡	檜山	荷上場	綴子	大館
角館	能代	酒田	吹浦	塩越	松嶺	本庄	松ヶ崎
岩沼	大河原	仙臺	利府	七北田	吉岡	古川	宮野
金成	小野	石巻	和刈	若柳	佐治	柳津	横山
志津川	小泉	氣仙沼	合泉	高田	盛	吉	腐
							登米

築館	長川	茂庭	涌谷	小白濱野所	臨窠	寒風澤	岩手山
陸中園	一ノ関前澤水澤金ヶ崎花卷郡山盛岡藩民	沿宮内大迫遠野金澤薄衣下厩折壁釜金石	大槌山田宮古小本黒崎宇部久慈黒澤尻	大野			

[illegible]

金津 [〃] 坂井 [〃] 湊 [〃] 福井 [〃] 勝山 [〃] 八野 [〃] 武生 [〃] 金敦 [〃] 賀 [〃]	足田	加賀國	津幡 [〃] 金澤 [〃] 金石 [〃] 鶴來 [〃] 松任 [〃] 美川 [〃] 小松 [〃] 大聖寺 [〃]	山代 [〃] 山中	能登國	今濱 [〃] 島島 [〃] 二ノ宮 [〃] 七尾 [〃] 田鶴濱 [〃] 中島 [〃] 穴水 [〃] 宇治津 [〃]
---	----	-----	--	--------------------	-----	--

飯田川尻福浦富来門前輪島

越中國

泊浦山魚津滑川岩瀬富山高岡今石動

城端井波杉ノ木氷見三日市小杉

越後國

福取津川行地赤谷新發田関山荒井高田

長濱名立能生糸魚川青梅市振瀧町柏崎

出雲崎長岡小ノ谷十日町塩津直井津加茂新津

地藏堂寺泊赤塚新瀧三條黒川村上水原

龜田中條村松塩野町中村上関巻燕市

関川柿崎鉢崎椎谷彌彦浅貝内野是爾新

白根

佐渡國

小木湊赤泊新町相川

丹波國

龜岡園部篠山栢原福智山家綾部物部
埴生福住追入市島立原小ノ原

丹後國

峯山宮津舞鶴市場河守久美濱

但馬國

因幡國

出石豐岡湯島銀山久畑小谷江原竹田
八鹿関宮利岡春木湯村千谷

知津用瀬鳥取湯村鹿奴潮津若櫻吉岡
新所

伯耆國

坂井原二部米子多里由良御来屋境
倉吉

法勝寺	大宮泊	根雨長瀬	八橋	赤崎	下市
淀江					

出雲國

大東	招江	安来	平田	杵築	宍戸	今市	口田	木
三刀屋	掛台	頓原	赤名	廣瀬	母里	横田	秋鹿	
荒島	出雲郷	湯町	直江	久村				

石見國

粕洲	大森	波根	温泉津	黒松郷	田濱	田今市
市木	三隅	益田	青原	津和野	飯浦	市山跡市
福光	太田町	河水				

隱岐國

別府崎	村千夫里	北方	西郷	布施
-----	------	----	----	----

播磨國

林田	明石	赤穂	加古川	姫路	三日月	高砂	片島
小野	福崎	新村	栗賀	山崎	常崎	正條	室津
龍野	二見	荒井	曾根	志方	北條	社	三草
新町	中村	御者	新在家	大塩	有年	佐用	千本
三木	町						
美作國							
土居	勝間	田津	山坪	井真	島美	甘坂	根落
下島	前村	吉々	原久	世福	渡新	庄	

三ッ石	片上	藤井	岡山	西大寺	下津	井小	串
備前國							
板倉	庭瀬	倉敷	矢掛	七日市	笠岡	玉島	高梁
足守	川邊						
備中							
備後國							

神邊尾ノ道	三原	福山	府中	鞆津市	村甲山
吉舎	三次	布野	今津	水越	
安藝國					
本郷	西條	海田市	廣島	廿日市	玖波
中山	宮島	里市			可部
周防國					
關戸	玖珂	花岡	岩國	福川	宮市
					小郡
					三田尻

山口	柳井津	今市	徳山	富海
長門國				
須佐	萩	舟木	小月	赤馬関
西市	正明市	豊浦	明木	佐々並
紀伊國				
和歌山	岩出	粉川	名手	橋本
小松原	印南	田邊	山口	富田
				本宮
				周參見
				近露

古坐 栗柄川和深太地 新宮 天満加太名高
馬瀬 曾根木本長島中井南部九度山妙寺村

淡路國

須本 福良岩屋

阿波國

徳島大寺 撫養川島 腋町 芝生池田 佐野

立江 桑野日和佐実喰

讃岐國

高松 石田引田三木柏津田志度丸亀多度津
金陵 觀音寺上高瀬和田濱

伊豫國

宇和島 松丸吉田卯町八幡濱大洲新谷内子
中山郡 中今治北條西條小松関峠川江

松山

土佐國

高知 高岡 須崎 久禮 窪川 佐賀 中村 川崎

川口 赤岡 安喜 奈半利 野根 宿毛 伊野 佐川

山田 石淵

筑前國

黒崎 木屋瀬 飯塚 内野 山家 秋月 福岡 原田

博多 宰府 甘木

筑後國

久留米 柳川 瀬高 飯田 田主丸 吉井町 福島 城島

上野町 羽犬塚 榎津 若津 江浦 三池町 府中

豊前國

小倉 行事 豊津 松江 中津 宮園 四日市

豐後國

日田森山口頭成日出杵築別府府内

鶴崎佐賀関臼杵佐伯今市岡小野市温湯

肥前國

神崎佐賀成瀬小城蓮池鹿島唐津

伊万里塚崎嬉野彼杵大村永昌島原長崎

肥後國

早岐平戸福江牛津北方愛津

南関山鹿植木熊本高瀬竹迫隈府小島

大津内牧鯨木倉宇土小川八代日奈久

田浦佐敷人吉水俣松合草三角草合津草下津浦

草町山草登立草富岡笹倉

		日向國			
		高岡	廣瀨	高鍋	美津
		延岡	熊田	高城	都城
		肤肥	宮崎		
		大隅國			
		福山	重富	横川	太城郎
				大口	
		薩摩國			

米津 阿久根 向田 伊集院 鹿野島 谷山 喜入 山川
 類娃 北南 加世田 西方 郡山 入来 宮城 市来港
 伊作 加治木

渡島國

箱館 大野 森 有川 知内 福島 吉岡 福山
 江良所 石崎 江差 三ッ谷 熊石 泉澤

後志國	石狩國	根 幌	室蘭		膽振國	
			白	老	宮	細村
			山	越	内	
			千	歲	幌	別
			長	萬	部	黑松内

蝦原	對馬國	壹岐國	郷浦	錢函		忍路古平
				小	樽	
				久	達	
				壽	都	
				歌	棄	
				藏	谷	

明治七年

日本

帝國郵便犯罪罰則

驛遞寮

○郵便犯罪罰則

第一條

明治六年
月日制定

郵便頭ハ郵便ヲ司ルノ任ニ當ル

ト雖モ尋常傭夫ノ之レノ傳送スル者同般

ニアラズ又郵便役所ハ危難請負ノ所ニアラ

ズ故ニ遞送ノ際信書其他ノ物品ヲ紛失シ或

ハ配達ノ間之ヲ誤リ達シ或ハ遲延セシメ

リ凡是ヨリ生スル損失不便宜ヲ賠償スル責

ニ當ツベカラザル事

第二條

同上

驛通頭ハ沒書ヲ開封シ郵便役所ハ驛

郵便規則ニ違フ信書等ヲ授留スルノ權アリ事

第三條 同上 大藏司法ノ両卿ハ條理適當ノ場合ニ於テハ郵便傳送ノ信書其他ヲ開封或ハ授留レ及ヒ他ニ之ヲ開封或ハ授留スルヲ許ス權アリトス然レバ之ヲ開封セバ必ス之ヲ驛遞頭ニ報知スベキ事

第四條 同上 大藏司法兩卿ノ免許ヲ受ケバ故ニ郵便派送ノ信書等ヲ開封或ハ授留スル者ハ五

十圓以上百五十圓以下ノ罰金ニ處スベキ事

第五條

明治六年四月廿四日
同七月一日法律

郵便役所ヲ勤ル者士官傭人ヲ論

ヒス信書ヲ盜ミ或ハ隠スアラハ百三十圓

以内ノ罰金ニ處ス但其犯情通貨及ヒ物品ヲ

盜ハニ出ル者ハ新律ニ照シテ處斷ス可キ事

第六條

同上

総テ郵便ノ信書ヲ盜ハ者ハ百圓以内

ノ罰金ニ處ス其遞送ノ際行囊行李ヨリ信書

ヲ出シテ通貨及ヒ寶器ヲ盜ミ出シ或ハ之ヲ

奪ヒ或ハ信書通貨ヲ盜ミ奪ハシ為メニ行囊

ヲ止ノテ其中ヲ探ル者ハ新律ニ照ミテ處斷
スベキ事

第七條

明治六年九月二日制定
同七年一月一日改正

郵便掛官員及ビ配達人等尋
常ノ信書及ビ郵便物ヲ遺失スル者ハ三十圓
以内ノ罰金其官書官物ニ係ル者ハ重ニ從テ
處斷シ書留郵便物ヲ遺失スル者ハ四十圓以
内ノ罰金其官書官物ニ係ル者ハ重ニ從テ處
斷スベキ事

但水火盜賊ニ依リ毀失スル者ハ此限ニア

ラバ

第八條

明治七年一月
日制定

郵便役所ヲ勤ル上官傭人ヲ不論
表書ニ記載スル地名明了ナル郵便物ヲ粗忽
怠慢ノ故ヲ以テ誤ラ郵便規則ニ違フ者ハ十
圓以内ノ罰金又故意之ヲ他ニ配達スル者ハ
六十圓以内ノ罰金ニ處スベキ事

第九條

同

郵便役所ヲ勤ムル者ハ勿論免許ヲ得
タル賣下ケ人ト雖モ郵便切手ヲ羅賣スル者
ハ五十圓以内ノ罰金又其羅賣シタル郵便切

手ヲ買取ル者ハ二十圓以内ノ罰金ニ處スベキ事

第十條 明治六年五月一日制定 郵便物ヲ安全ナラシムベキ備ヘ
ヲ以テ設ケアル郵便箱ノ中ニコレアル信書
等ヲ故ラニ損害シ表書ヲ消シ或ハ破ル者且之
ヲ助ケル者ハ六十圓以内ノ罰金ニ處スベキ
事

第十一條 同日 日誌新聞紙其他ノ上木物無封或ハ
開キ封ニテ郵便遞送ノモノヲ破リ或ハ梗留

スルモハ六十圓以内ノ罰金ニ處スベキ事

第十二條 明治六年五月一日制定
同七年日改正 凡情ヲ知リテ他ノ盗ミタ

ル信書或ハ行囊ヲ隠ニ預リ置者ハ七十五圓
以内ノ罰金ニ處スベキ事

第十三條 明治六年五月一日制定 郵便役所ヲ勤ムル者ノ盗ミタ
ル品ヲ知テ買取リ或ハ囑ヲ受ケテ賣ル者ハ
百圓以内ノ罰金ニ處スベキ事

第十四條 同上 信書ヲ遞送シ郵便税ヲ収ムル特權
ハ獨リ驛連頭ニ附與スルノミ故ニ何族何官

何業ノ者ニテモ驛逋頭ノ獨任スル特殊ノ權
外ニアラザル信書ヲ一切逋送配達スベカラ
ズ若シ之ヲ犯シテ逋送配達スル者ハ二百圓
以内ノ罰金ニ處スベキ事

第十五條 同上 信書ヲ差出ス者ト云ヘテ前条ノ法
ヲ犯シ郵便役所郵便取扱所及ヒ郵便箱、外
ニ之ヲ出スルハ二十圓以内ノ罰金ニ處スベ
キ事

第十六條 同上 驛逋頭ノ獨任スル特殊ノ權ハ全ク

書狀ニ限リ新聞紙類書籍見本品及ヒ貨幣且
書狀ニ云ハル左ノ記載ノセノハ此限外ニ候
条何人ニラセ之ヲ逋送配達レ得ベキ事

第一 明治六年九月一日制定
同七年一月一日改正 親族朋友及ヒ従僕等ヲ以テ
直ニ達スル書狀

第二 同上 郵便發程ノ時日ヲ待合ヒ難キ至急ノ
事故等ヲ以テ其書狀ヲ差出ス人或ハ受取
ル人ノ自用ニ就テ人ヲ傭ヒ其用事ヲ達ス
ル書狀

第三 明治六年五月制定 諸官狀公令公訴ノ書狀

第四 船或ハ車等ノ持主及ヒ其船車等ヲ以テ積送ル荷物ノ持主ヨリ賃錢手数料ヲ拂ハズ受取ラズ其船車ノ業且荷物ノ事ニ付キ其呂使ノ者ヲシテ互ニ往復配達セシムル書狀

第五 明治六年五月制定 尋常運輸ヲ以テ業トスル者ニ依テ送ル荷物ニ就テ送レル添狀送狀ノ類ニシテ別ニ賃錢手数料等ヲ拂ハズ受取ラズ其

荷物ト共ニ達スベキ書狀

第六 明治七年一月一日制定 荷物ニ就テ送レル添狀送狀ノ類

ハ無封無緘或ハ開キ封ノモノトス

第十七條 明治六年五月一日制定
同七年一月一日改正 前條ニ記載スル限外信書

ノ仕方ヲ偽リ竊ニ之ヲ傳送配達スル者ハ第十四條ニ照シ處斷スヘキ事

第十八條 明治六年五月一日制定 左ニ記載スル者ハ別段嚴重ニ

信書ノ取扱ヲ禁止ス故ニ喩ヘ賃錢手数料等ヲ受取ラザルモノト云ヘ其前ノ限外ノ書狀

ノ他ハ一切之ヲ集ノ之ヲ受取リ之ヲ傳送配
達スベカラズ若シ之ヲ犯ス者アラバ第十四
條第十七條ニ照シテ處分スベキ事

第一 諸陸運會社定飛脚會社或ハ問屋及ビ
飛脚渡世馬車會社牛馬會社等一切陸運ヲ
以テ業トスル者其身ハ勿論召使又ハ他方
ノ取扱人ニ至ルマデ乗車荷車牛馬人夫ヲ
論ゼス御者別當口取口附ノ者ニ限ラズ一
切是レニ關スル者

第二

諸蒸氣船風帆船押送船内洋形日本形
ニ拘ハラズ別ニ飛脚船早船渡海等ト唱
ヘ旅客ヲ載セテ航スルモノ及ビ期日ヲ定
メテ出船スルモノ總テ皇國環海ノ沿岸一
沿ヒ皇國內ノ諸港諸灣ノ間ニ往來スル諸
船ノ持主船長役員水火夫ヨリ從僕取扱人
ニ至ルマデ一切コレニ關スルモノ

第三

蒸氣帆前艦棹船ニ限ラズ皇國內ノ
湖水川溝ヲ往來スル諸船ノ持主及ビ水夫

等ニ至ルマバ一切是レニ關スルモノ

第四 蒸氣車馬車蒸氣船早船等ニ乗テ屢々

諸方ニ往來スベキ稼業ノモノ

第十九條 驛通頭ヨリ郵便物ノ運送ヲ約定シ

タル水陸運輸稼業ノ者ト云ハレ郵便切手コ

レヲモ信書ヲ運送或ハ配達スルニ於テハ第

十四第十七兩條ニ照シテ處分スベキ事

第二十條 明治六年五月一日制定
同七年一月一日改正 郵便切手及ヒモガキ印紙

封囊ハ諸郵便役所并官許ヲ受ケテ大書ノ郵

便切手賣下所ノ看板ヲ掲グル家ノ外一切賣
ルコトヲ禁ス之ヲ犯シテ賣ルモノハ百圓以内
ノ罰金ニ處シ其賣リタル品并代金且賣ラン
トスルノ品ヲモ可取上事

第廿一條 同上 郵便役所并官許ヲ得テ看板ヲ掲グ

ル家ニマラザル者ヨリ私ニ同種ノ切手及ヒ

モガキ印紙封囊三枚以上ヲ買フコトヲ禁ス之

ヲ犯シテ買フ者ハ二十圓以内ノ罰金ニ處シ

其買受タル品ヲモ可取上事

第廿二條 同上

一度用ヒタル郵便切手又にかき印紙封袋帶紙及ヒ拂濟ノ証印等ヲ消シタル墨ヲ洗ヒ或ハ之ヲ削リ取り再度用ヒシ者ハ六十圓以内ノ罰金ニ處スベキ事

第廿三條 同上 郵便切手又にかき印紙封袋及ヒ拂濟証印ヲ偽造スル者ハ九十圓以内ノ罰金ニ處スベキ事

第廿四條 明治六年五月一日制定 郵便役所ヲ勤ル者私書ヲ公書トシシテ往復シ且郵便切手コレナキ書狀等

ヲ私ニ取扱フ者ハ百圓以内ノ罰金ニ處スベキ事

第廿五條 同上 竊ニ通貨ヲ書中ニ封入シ送ルモノハ二十圓以内ノ罰金ニ處スベキ事

第廿六條 明治七年二月一日制定 郵便先拂税及ビ不足税ヲ最初配達ノ時ヲ除キ郵便役所ヨリ受取ノ為メ使ヲ送ル五度ヲ過キテ猶拂ヒ納メザル者ハ二十圓以内ノ罰金ニ處スベキ事

第廿七條 同上 姓名類似セル郵便物ヲ開封セシメ

ハ速ニ其類似スル所以ヲ記シ之ヲ其近傍ノ
郵便役所又ハ郵便取扱所ニ申牒シ郵便役所
又郵便取扱所ハ之ヲ驛通頭ニ申牒スヘシ若
シ之ヲ申牒セズ或ハ之ヲ投棄ニ附スル者ハ
二十圓以内ノ罰金ニ處スベキ事

第廿八條^{同上} 某官廳某家ニ屬シ又ハ住スル某人
ニ名宛シタルヲ以テ某廳或ハ某家ニ配達セ
シ郵便物ヲ其人ニ達ス又或ハ其人員廳ニ屬
セス其家ニ住ヤザルハ之ヲ郵便役所ニ差戻

サズ等閑ニ附シ或ハ投棄ニ任ズル者ハ三十
圓以内ノ罰金ニ處スベキ事

第廿九條^{同上} 郵便役所ヲ勤ムル士官傭人ヲ不論
郵便切手ヲ削取リ不足税ト偽ル者ハ第五條
ニ照シテ處斷ス可キ事

第三十條^{同上} 郵便配達人等其配達先於テ慢ニ金
錢ヲ乞ノ者ハ其乞受タル金錢ヲ取上ゲ其金
高十倍ノ罰金ニ處スベキ事

司法省答議

大蔵省同郵便規則罰則改正ノ儀御下問ニ付本文中
張紙朱書ヲ以テ當省意見見左ノ通り申進候也
十一月三十日
下問
例文

郵便犯罪罰則

第一條 明治六年五月制定驛遞頭ハ郵便ヲ司ルノ任ニ當ル
ト雖モ尋常庸夫ノ之レヲ傳送スル者ト同般ニアラ
ス又郵便役所ハ危難請負ノ所ニアラス故ニ遞送ノ
際信書其他ノ物品ヲ紛失シ或ハ配達ノ間之ヲ誤リ
違シ或ハ延^延スル^延アリ是ヨリ生スル損失不便宜
ヲ辨償スル責ニ當ツヘカラサレ事

第二條 同上驛遞頭ハ没書ヲ開封シ郵便役所ハ総テ
郵便規則ニ違フ信書等ヲ搜留スルノ權アル事

二 正 則 典

第五條 同上 郵便役所ヲ勤ムル者士官傭人ヲ不論信書其外郵便物ヲ盗ミ或ハ隠スヲアラハ懲役七十日

以上絞罪以下ノ刑ニ處スヘキ事

第六條 同上 總テ郵便遞送ノ信書ヲ盗ミ或ハ之レヲ遞送ノ際行囊行李ヨリ信書ヲ出シテ通貨及ヒ寶器ヲ盗ミ出シ或ハ之ヲ奪ヒ取り或ハ之ヲ盗ミ奪ハシ

為シニ行囊ヲ止メテ其中ヲ探クル者ハ懲役五十日

以上終身懲役以下ニ處スヘキ事

第七條 明治六年九月一日制定 郵便掛官員及ヒ配達

人等尋常ノ郵便物ヲ遺失スル者ハ三十圓以内ノ罰

金ニ處ス書留郵便物ヲ遺失スルハ重キニ隨ヒ處分

スヘキ事

但シ水火盜賊ニ依リ毀失スル者ハ此限りニアラ

ス

第八條 明治七年一月一日制定 郵便役所ヲ勤ムル士官傭人ヲ不

論表書ニ記載ナル地名明了ナル郵便

第十二條 同上 凡ソ情ヲ知リテ他ノ盗ミタル信書或

ハ行囊等ヲ隠ニ預リ置ク者ハ三十圓以内ノ罰金ニ

處スヘキ事

第十六條 内

第一親族朋友及ヒ從僕等ヲ以テ直チニ其表面ニ

記ス姓名ノ方ニ違スル書状

第二郵便發程ノ時日ヲ待合セ難キ至急ノ事故等

ヲ以テ其書状ヲ差出人或ハ受取人ノ自用ニ就

テ殊ニ一個ノ使ヲ出シ其用事ノミヲ違スル為ニ

送ル書状

第十七條 同上前條ニ記載スル限外信書ノ仕方ヲ偽
リ寄ニ貨錢或ハ手數料等ヲ受取之ヲ傳送配達スル
者ハ第十四條ニ掲ル罪科ノ一倍ヲ命スヘキ事

第十八條 同上郵便切手及ヒ拂濟證印ヲ偽造スル者
ハ偽造官印律ニ照シ罪終身懲役ニ止ム

第十九條 同上姓名類似セル郵便物ヲ開封セシ片ハ速
ニ其類似スル所以ヲ記シ之ヲ驛頭ニ申牒スヘシ
若シ之ヲ申牒セス或ハ之ヲ投棄ニ附スル者ハ二十
圓以内ノ罰金ニ處スヘキ事

第二十條 同上某官廳某家ニ屬シ又ハ住スル某人ニ
名宛シタルヲ以テ某廳或ハ某家ニ配達セシ郵便物
ヲ某人ニ達セス或ハ某人員廳ニ屬セス某家ニ住セ
サル片ニ之ヲ郵便役所ニ差戻サス等閑ニ附シ或ハ

投棄ニ任スル者ハ拾圓以内ノ罰金ニ處スヘキ事

第二十一條 同上郵便役所ヲ勤ムル士官傭人ヲ不論郵
便切手、削取不足税ト偽ル者ハ二十圓以内ノ罰金
ニ可處事

第二十二條 同上郵便配達人等其配達先ニ於テ慢リニ
金錢ヲ乞フ者ハ其乞受タル金錢ノ十倍ノ罰金ニ可
處事

法制部議案

別紙大蔵省伺郵便規則罰則改正ノ儀又調査候處年
々之ヲ改正シ其故ヲ存シテ其新ニ比較シ以テ事務
ノ開進ヲ認メ候ハ實際好處分ニ有之且之中改正ノ
案々別段差支モ無之ニ付御允許可相成筋ト存候ハ
共罰則中制定増加ノ項モ有之ニ付定規ノ通一應司

法省、御下問相成可然存候也 十二月十五日

法制課議案

別紙大蔵省同郵便規則ノ儀ハ先般上申候通御允許
相成可然其罰則ノ儀司法省答議参酌及調査候惠司
法省朱書掛紙ノ方權衡ニ於テモ其當ヲ得候據存シ
候ニ付御指令按左ノ通り調査仰高裁候也 十二月三日

大蔵省同

表明治七年郵便規則及之罰則共改正相同候就テハ
制可ノ上上梓呈本仕候節ニ至リ左ノ通一般ハ御布
告有之度此段兼テ相同置申候 十一月十四日

同ノ趣第四百十一号布告候事 十二月廿日

外史議案

大蔵省ヨリ郵便規則及之罰則改正ニ付御布告ノ儀

同ハ右兩則改正同中ニテ未御制可前ニ有之全取越
同ニハ候ハ共差急候條件ニ付兼テ同定置候儀故迄
テ兩則改正御制可ノ日御布告可取計ト存候此段兼
テ奉伺候也 十一月十八日